

# 2023 年度 地黄湿地 保全活動計画

## 計画の概要

湿地の再生・保全は3カ年計画を基本に調査計画や施工を進める。

調査・モニタリングは継続的に実施する。

普及啓発などについては、勉強会などを開催して、地元及び一般参加者の拡充に努めるとともに、北摂地域の各湿地における保全活動が活発化しており、それらの保全活動団体と交流を図り、連携の可能性を検討する。

## I 再生保全検討会議

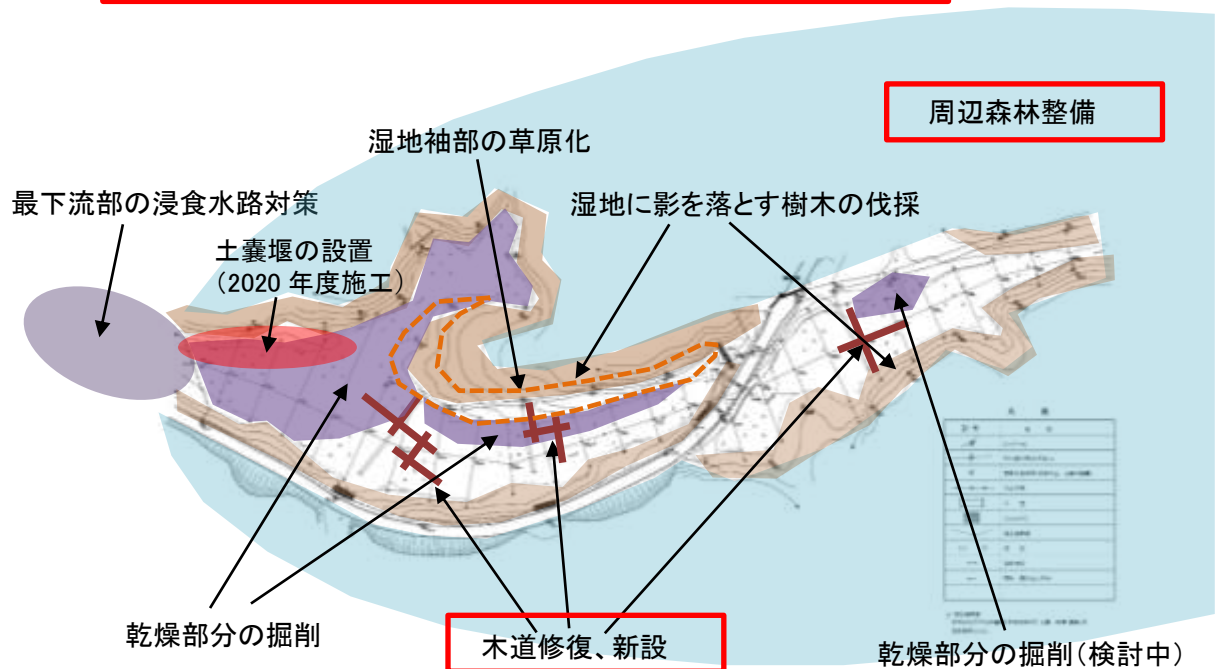
5月に加えて、中間報告など必要に応じて随時会議を開催する。

## II 保全作業

2021年度第2回検討会議（12月開催）において承認された、2022年度から2024年度の3カ年計画を進める。

2022年度までの実施内容と、2023年度以降の予定は下表の通り。

2021年度に実施済み	湿地周りの高木伐採 乾燥部分の掘削
2021年度から継続実施	湿地袖部の草原化
2022年度に実施済み	最下流部の浸食水路対策
2022年度以降に実施予定	周辺森林整備
2023年度以降に実施予定	木道修復、新設



## 1 周辺森林整備

森林タイプ別の施業方針及びスケジュールを関係者と協議のうえ作成し、その計画に基づいて森林整備を進める。

専門家の指導を受けて上池湿地集水域に植生調査区を新たに 1 ヶ所設け、区画の周囲に防鹿柵を設置する。

人工林については草原地化を目指し、皆伐をすすめる。

## 2 木道修復、新設

木道の老朽化が進んでいるため、既存の木道を修復する。その際には観察者の行き違いを可能にする場所を新設する。(別紙添付)

## 3 ボランティア定例保全活動

4 月～10 月は月 1 回とし、湿地内の動植物観察や希少種確認及び記録と、湿地外の林床整備等の作業を行う。11 月～3 月は月 2 回とし、湿地内の整備を行う。

年間計画(案)を巻末に添付。

### (1) 湿地内の動植物観察や希少種確認及び記録

サギソウ等の希少種の分布状況、生育状況を記録する。

### (2) 草原地化部の保全・草刈等

湿地袖部で防鹿柵を設置し草原地化を目指している部分は、引き続き植生管理のための草刈などを実施する。

### (3) 湿地内の水環境の保全・草刈等

植物の活動が少なくなる 11 月以降、湿地内で水の偏りがいないか確認し、湿地全体に水が行き渡るように土嚢などを設置する。

貧栄養の水質と光環境を保つため、湿地全域について枯れた植物体の刈り払い、撤去を行う。

### (4) 周辺森林の植生調査地の保全・草刈等

2022 年度に設置した周辺森林の植生調査地は防鹿柵内の遷移を確認し、必要に応じて順応的管理を行う。

### (5) 外来種対応

確認された外来種については駆除などの対応を行う。

- ・ウシガエル：捕獲用のカニ籠を引き続き設置し、夏季に卵塊がないか目視で確認する。
- ・メダカ：引き続き状況を確認し、ボランティア定例活動時に駆除を行う。駆除は観察会・保全活動体験会及び、大阪府立豊中高等学校能勢分校の現地授業の機会も利用し、外来種問題の啓発を兼ねて、参加者の協力を得て実施する。

## IV 調査・モニタリング

### 1 植物調査

2021 年度に草地化及び掘削を行ったコドラートの追跡調査と、2022 年度に設定した周辺森林の植生調査地の調査を秋に 1 回実施する。確認された植物に応じて順応的管理を行う際の参考とする。

委託先：武田義明名誉教授（神戸大学）、上田萌子准教授（大阪公立大学）

### 2 哺乳類調査

自動撮影カメラのデータを定期的に回収・記録を継続し、撮影された画像などは大阪みどりのトラスト協会の HP で公開する。

### 3 水生生物調査

湿地内および周辺の水生動物を、年 3 回の調査を通して種数の変遷を調査する。調査対象は節足動物および両生類とする。

今年度はハッチョウトンボの保全を目的として、地黄湿地における本種の発生状況と季節消長、行動などの解明を目的とした調査を行う。（詳細別紙参照）

委託先：平井規央教授（大阪公立大学）

### 4 動植物観察、希少種確認・記録

ボランティア定例活動において、サギソウ等の希少種の分布状況、生育状況を記録する。（再掲）

## V 普及啓発など

### 1 地元高校環境学習

地黄湿地を活用した環境教育を行う。

### 2 一般参加観察会

植物紹介を中心とした観察会を年に 3 回実施する。そのうち、6 月のトキソウ観察会では、ハッチョウトンボ調査を併せて実施するとともに、水生動物を紹介する機会とする。動植物や保全活動に関心のある人を対象に、自然環境についての学び場とし、保全活動への参加を促進させる。

- ・【6 月】トキソウ・ハッチョウトンボ・水生動物観察会
- ・【7 月】サギソウ観察会
- ・【10 月】秋の植物観察会

### 3 勉強会・実地研修会

前年度に好評だった勉強会・実地研修会を今年度も実施する。時期はハッチョウトンボが見られる時期とし、内容は湿地保全活動をどのように継続していけるかを参加者で考える機会とする。

また、北摂地域の各湿地における保全活動が活発化しており、それらの保全活動団体と交流を図り、連携の可能性を検討する。

### 4 巡回パトロール

地元地黄区の協力を得て、春～秋は月 2～3 回、冬季は月 1 回、年間合計 25 回の巡回パトロールを実施する。

## 2023 年度 地黄湿地活動予定

日程	内容	団体	備考
4/22 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
5/27 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
6/24 (土)	トキノウ・ハッチョウ トンボ観察会	公立大学平井教授 トラスト協会 地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
6/29 (木)	地域と環境授業	能勢分校	観察実習
7/13 (木)	地域と環境	能勢分校	観察実習
7/22 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
7/23 (日)	サギソウ観察会	公立大学上田萌子准教授 トラスト協会 地黄の森 FAN クラブ	
8/26 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
9/23 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
10/12 (木)	地域と環境	能勢分校	観察会下見含む
10/19 (木)	秋の生きもの観察会	能勢分校 トラスト協会 地黄の森 FAN クラブ	観察会講師
10/28 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
11/25 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
12/9 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ	
12/23 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
1/13 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ	
1/27 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
2/1 (木)	地域と環境	能勢分校	保全活動体験
2/10 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ	
2/15 (木)	地域と環境	能勢分校	保全活動体験
2/24 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	
3/9 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ	
3/23 (土)	定例保全活動	地黄の森 FAN クラブ 日本森林ボランティア協会	

・地黄の森 FAN クラブ活動

原則 4月～11月は第4土曜日

12月～3月は第2・第4土曜日

・日本森林ボランティア協会

第4土曜日